



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部 活動報告

本号の編集担当者 山城清二

発行人：伴 信太郎
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻総合
診療医学分野 内
Tel. 052-744-2951 Fax. 052-744-2951
E-mail: nobuban@med.nagoya-u.ac.jp
HP: <http://www.med.nagoya-u.ac.jp/general/>

ニュースレター No.12 (2015.12)

CONTENTS

三重県：第5回 国際家庭医療フォーラム in 三重
家族志向の医療・ケア 集中コース セミナー
第20回 三重・家庭医療学セミナー etc.

岐阜県：第11回 日本病院総合診療医学会
第14回 岐阜総合内科研究会
第32回 岐阜プライマリ・ケアカンファレンス etc.

愛知県：第4回 プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会
『ACCEL 2015 秋』
指導医養成講習会

静岡県：第1回 静岡プライマリ・ケアフォーラム案内
第7回 家庭医療学学生・研修医ワークショップ報告
ふじのくに家庭医後期研修プログラムの紹介 etc.

富山県：やらんまいけ スポーツ医学のいろは
Daniel Panisko 先生（トロント大学）来日
第4回 とやまいびー etc.

福井県：高浜中学校地域医療・介護特別授業
けっこう健康！たかはま☆わいわいカフェ
家庭医勉強会 etc.

石川県：能登地域総合診療強化勉強会
平成27年度クリニカルラウンド
能登地域医療セミナー秋合宿 etc.

その他：支部運営情報

●三重県

【報告】

1) 2015年11月30日(月) 第5回 国際家庭医療フォーラム in 三重

会場：三重大学探索医学研究棟2F 総合診療科・家庭医療学 医局

18時00分～20時00分（質疑応答含む）

Patrick Hutt 先生 英国王立家庭医療専門医, クイーンズブリッジグループクリニック 医師

テーマ：「GP Training in the UK : past, present, future -英国に学ぶ家庭医への道 in Mie-」



2) 2015年11月24日(火) 第23回 三重・家庭医療学セミナー

会場：三重大学探索医学研究棟2F 総合診療科・家庭医療学 医局 19時00分～（約2時間）

齋藤 孝仁 先生 医療法人富田浜病院 内科部長

テーマ：地域医療における消化器病診療復習編～膠原病や感染症も含めて～ ※6/30の開催に続き2度目のご講演です。

3) 2015 年 11 月 19 日(木) 第 22 回 三重・家庭医療学セミナー

会場：三重大学探索医学研究棟 2F 総合診療科・家庭医療学 医局 18時00分～

橋本 忠幸 先生 橋本市民病院 医師

テーマ：「若手指導医のための指導力アップ講座 (Residents as Teachers ワークショップ)」

4) 2015 年 11 月 18 日(水) 第 4 回 医療面接ラボ

会場：三重大学探索医学研究棟 1F 教育センター会議室 13時00分～15時00分

テーマ：OSCE 直前 医療面接練習会

5) 2015 年 11 月 6 日(金) 家族志向の医療・ケア 集中コース セミナー

会場：県立一志病院 17時15分～18時30分

Todd Edwards 先生 サンディエゴ大学大学院 家庭医療法プログラム 教授 LMFT

テーマ：「Anticipated Losses and Anticipatory Grief in Older Adulthood

高齢家族における予期喪失と予測されるグリーフ」

6) 2015 年 11 月 5 日(木) 家族志向の医療・ケア 集中コース セミナー

会場：津ファミリークリニック 12時45分～13時30分

Todd Edwards 先生 サンディエゴ大学大学院 家庭医療法プログラム 教授 LMFT

テーマ：「The Transition to Parenthood and Effective Parenting Strategies

親となることへの変化と効果的な子育ての戦略」



7) 2015 年 11 月 3 日(火・祝) 家族志向の医療・ケア ワークショップ

会場：三重大学 総合医学教育棟 2F 臨床第1講義室

9時30分～17時30分 (受付開始9時00分)

講師：Todd Edwards 先生 サンディエゴ大学大学院 家庭医療法プログラム 教授 LMFT

テーマ：「家族志向の医療・ケア ワークショップ」

8) 2015 年 10 月 29 日(木) 第 21 回 三重・家庭医療学セミナー

会場：三重大学探索医学研究棟 2F 総合診療科・家庭医療学 医局 18時00分～19時00分

山田 宇以 先生 聖路加国際病院心療内科

テーマ：「プライマリ・ケアで使える！向精神薬の使い方」

9) 2015 年 10 月 22 日(木) 生命医科学専攻・未来医療研究人材養成拠点形成事業 総合診療のための PhD コース/アカデミック GP 教育コース 大学院講義 第 9 回 医学教育学

会場：三重大学探索医学研究棟 2F 総合診療科・家庭医療学 医局 19 時 00 分～20 時 30 分

講師：Daisy E Rotzoll 先生 ライプツィヒ大学 小児科、岐阜大学医学教育開発研究センター客員教授 MEDC

テーマ：「Peer-assisted teaching - a tool to be considered in Japanese family practice training」

10) 2015 年 10 月 8 日(木) 第 20 回 三重・家庭医療学セミナー（第 1 回 感染症講義シリーズ）

会場：三重大学探索医学研究棟 3 階 19 時 00 分～

谷崎 隆太郎 先生 名張市立病院 医師、三重大学・伊賀地域医療学講座 助教

テーマ：「一生使える！臨床感染症の基本 ～臨床感染症学総論～」



11) 2015 年 10 月 1 日(木) 第 3 回 医療面接ラボ

会場：三重大学探索医学研究棟 1F 教育センター会議室 16 時 30 分～17 時 30 分

テーマ：誘惑する患者

12) 2015 年 9 月 12 日(土) ポートフォリオ発表会 & FMIM（家庭医療ワークショップ）

会場：三重大学総合医学教育棟 2 階 臨床第 1 講義室

午前 9:20-12:00：ポートフォリオ発表会

午後 1:00-5:10：FMIM

【今後の予定】

1) 2015 年 12 月 9 日(水) 第 5 回 医療面接ラボ

会場：三重大学探索医学研究棟 1F 教育センター会議室 13 時 00 分～15 時 00 分予定

テーマ：OSCE 直前 医療面接練習会 第 2 弾

2) 2015 年 12 月 14 日(月) 第 24 回 三重・家庭医療学セミナー

会場：三重大学探索医学研究棟 2F 総合診療科・家庭医療学 医局 18 時 30 分～（約 1.5 時間）

講師：富岡 慎一 先生 産業医科大学公衆衛生学

テーマ：「日本のかかりつけ医の今後のあり方」

3) 2015 年 12 月 20 日(日) 第 1 回 IDT-MIE(多職種のチーム医療プログラム)

会場：鈴鹿医療科学大学（白子キャンパス 3 号館） 10 時 00 分～16 時 00 分

対象：医・看・歯・薬・福祉・心理学科他に属する学生

4) 感染症講義シリーズ

会場：三重大学探索医学研究棟 2F 総合診療科・家庭医療学 医局 19 時 00 分～（約 1 時間程度）

講師：谷崎 隆太郎 先生 名張市立病院 医師、三重大学・伊賀地域医療学講座 助教

2015 年 12 月 22 日(火) 第 2 回：「グラム染色と培養のハナシ」

2016 年 1 月 26 日(火) 第 3 回：「肺炎」

2016 年 2 月 23 日(火) 第 4 回：「尿路感染症」

2016 年 3 月 22 日(火) 第 5 回：「咽頭炎」

2016 年 3 月 29 日(火) 第 6 回：「髄膜炎」

●愛知県

【報告】

1) 2015 年 9 月 12 日(土) 14:00-18:00 『ACCEL 2015 秋』

場所：中津川市健康福祉会館

ACCEL (Annual Conference on Collaborative and Elaborative Learning for Senior Residents) は、名古屋大学総合診療科が主催する家庭医療専門医試験の受験申請に必要なポートフォリオの作成を支援するためのミーティングです。年 4 回開催。

今回は 21 名参加いただきました。今年当プログラムを卒業し、無事に家庭医療専門医を取得された、船橋浩一先生、近藤猛先生より、研修の振り返りと試験対策をしていただき、有意義な会となりました。また学外の先生、医学生にも参加していただき、大いに盛り上がりしました。



すべての家庭医療専門医後期研修プログラムの研修医、指導医のオープン参加を歓迎します。またプライマリ・ケア認定医の受験や更新、家庭医療専門医更新でポートフォリオ作成が必要な方も是非ご参加ください。

連絡先：名古屋大学医学部附属病院総合診療科（担当：安藤友一）

E-mail : u1ando@med.nagoya-u.ac.jp Tel & Fax : 052-744-2951

2) 第 4 回中部ブロック支部学術集会

2015 年 11 月 29 日(日) 13:00～18:00

場所：名古屋大学医学部鶴友会館

名古屋大学で第 4 回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会が開催された。今年度は「電子カルテと医療情報管理」をメインテーマにし、教育講演では白鳥義宗先生（名古屋大学医学部附属病院メディカル

IT センター) から「地域包括ケアシステムの時代に向けた ICT を利用した情報共有の課題」と題されたご講演をいただいた。シンポジウムでも、地域のクリニックや病院、在宅医療専門クリニックと日常診療の場が異なる先生方が、それぞれの観点から電子カルテ利用に関するメリット・デメリットについて多様な意見を提示してくださった。また、日頃の診療・教育活動に関連する4題の一般演題発表も行われた。25名の会員が参加し、活発な議論が行われた。



3) 指導医養成講習会

2015 年 11 月 29 日 (日) 9:00~12:00

場所: 名古屋大学医学部鶴友会館

第4回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会に先立って指導医養成講習会が行われた。今回は中部ブロック支部外からの会員4名を含む、25名の会員が参加した。



【予定】

1) ACCEL2015

2015 年 12 月 12 日 (土) 14:00~17:00 (名古屋大学医学部基礎棟第1会議室)

2016 年 3 月 5 日 (土) 13:00~16:00 (名古屋大学医学部基礎棟第1会議室)

2) 中部ブロックポートフォリオ発表会

2016 年 3 月 13 日 (日) 13:00~18:00

場所: 名古屋大学医学部鶴友会館

●岐阜県

【報告】

1) 9月4日、5日 奈良春日野国際フォーラム

第11回日本病院総合診療医学会

特別講演1 医療(健康)経済学から日本の医療を考える

早稲田大学政治経済学術院 野口晴子

座長 岐阜市民病院総合診療・リウマチ膠原病センター 石塚 達夫

一般演題

サルコイドーシスによる無症候性 CPK 血しょうを皮下結節生検で診断した 1 例

羽島市民病院 総合内科、岐阜市民病院総合診療・リウマチ膠原病センター 田口皓一郎、石塚達夫

Cogan 症候群との鑑別に苦慮した胃癌合併高安動脈炎の 1 例

岐阜市民病院総合診療・リウマチ膠原病センター 浅野元尋、北田善彦、藤岡 圭、安藤大樹、石塚達夫

20 年以上の慢性下痢を認め、メサラジンアレルギーを契機に診断した好酸球性胃腸炎の 1 例

岐阜大学医学部附属病院総合内科 池田貴英、山内雅裕、不破雅之、村上大輔、臼井太郎、梶田和男、森田浩之

子宮頸癌術後放射線療法後に膀胱直腸瘻が生じ、高クロール性代謝性アシドーシスによる意識障害を生じた 1 例

岐阜大学医学部附属病院総合内科

村上大輔、不破雅之、浅野元尋、臼井太郎、山内雅裕、池田貴英、梶田和男、森田浩之

Crohn 病で生物学的製剤導入後に発症したリンパ腫由来血球貪食症候群の 1 例

岐阜市民病院 総合内科 藤岡 圭、浅野元尋、北田善彦、安藤大樹、丸山貴子、山田浩司、石塚達夫

発熱患者の診断に対する血清フェリチンの有用性

岐阜大学医学部附属病院総合内科 不破雅之、池田貴英、山内雅裕、村上大輔、臼井太郎、梶田和男、森田浩之

PET-CT が不明熱診断に有用だった子宮頸癌の 1 例

岐阜赤十字病院総合診療科、岐阜大学総合内科 森 一郎、山内雅裕、池田貴英、梶田和男、森田浩之

自己免疫性 pure red cell aplasia に野カルジアによる後腹膜膿瘍を合併した 1 例

岐阜県総合医療センター 総合診療科、千葉大学 真菌医学研究センター

岡田英之、小林真一郎、中村祐人、宇野嘉弘、飯田真美、五ノ井 透

皮膚潰瘍と両下腿市販で受診し生検で皮膚結節型結節性動脈炎の診断に至った 1 例

松波総合病院 総合内科、病理診断科 長縄達明、国枝武重、山田梨絵、村山正憲、山北宜由、池田庸子

持続する共通の鑑別に難渋した悪性胸膜中皮腫の 1 例

松波総合病院 総合内科

小泉亜耶子、国枝武重、長縄達明、杉の正晃、山田梨絵、浅井光広、傍島卓也、村山正憲

食欲不振を主訴として入院となった高齢者の原因を療養環境から予測しうるか

松波総合病院 総合内科

国枝武重、栗本美緒、長縄達明、小泉亜耶子、杉野正晃、向 真人、山田梨絵、浅井光広、傍島卓也、村山正憲

2) 9月11日、岐阜グランドホテル

第14回岐阜総合内科研究会

症例検討 座長 総合大雄会病院 村瀬 寛

後腹膜腫瘍の1例 岐阜県総合医療センター総合診療科 岡田英之

PET が診断に有効であった 不明熱の1例

岐阜赤十字病院総合診療科 森 一郎

一般講演 座長 岐阜大学大学院医医学系研究科総合病態内科学 梶田和男

インターフェロンフリー治療の登場でC型肝炎は克服できる時代に

岐阜県総合医療センター 消化器内科 杉原 潤一

特別講演 座長 岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学 森田浩之

免疫疾患における免疫抑制薬の位置づけ

東邦大学 医学部内科学講座膠原病学分野 亀田秀人

3) 10月25日 じゅうろくプラザ、岐阜

第227回日本内科学会東海地方会、第36回日本内科学会東海支部主催生涯教育講演会

会長 岐阜大学総合病態内科学 森田浩之

不明熱疾患の診療

岐阜市民病院総合診療・リウマチ膠原病センター 石塚達夫

外傷後に発症したACTH単独欠損症の1例

岐阜市民病院総合内科 浅野元尋、北田善彦、藤岡 圭、安藤大樹、石塚達夫

松果体部胚細胞腫瘍に続発した中枢性尿崩症の1例

岐阜市民病院リウマチ膠原病センター、岐阜県総合医療センター、岐阜大学総合内科

北田善彦、石塚達夫、宇野嘉弘、森田浩之

急性十二指腸炎で発症したループス腸炎の一例

臼井太郎、不破雅之、村上大輔、高橋典子、山内雅裕、池田貴英、梶田和男、森田浩之

成人Still病8例の検討

岐阜県総合医療センター総合診療科 岡田英之、宇野嘉弘、飯田真美

腹痛を契機に診断された高齢発症でIgG4正常の後腹膜線維症

岐阜赤十字病院総合診療科、岐阜大学総合内科 魚津弘毅、森 一郎、 森田浩之

4) 11月27日 第32回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス 岐阜会館

症例ディスカッション 座長 岐阜赤十字病院 総合診療科 森 一郎

1. 原因不明の胸水、気胸を認め紹介受診となった1例

中濃厚生病院 山内翔

ディスカッサント 松波総合病院 中村 康人

大垣市民病院 谷村 真依

2. 突然に上腹部痛をきたして ER を受診した中年男性の 1 例

岐阜市民病院 大島 功文

ディスカッサント 総合大雄会病院 橋本昌哉、

木沢記念病院 藤本敬太

ミニレクチャー 座長 岐阜大学総合病態内科学 梶田和男

インスリン治療について

岐阜大学医学部附属病院総合内科 山内雅裕

特別講演 座長 岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学 森田浩之

脳梗塞治療最前線

岐阜大学医学部附属病院 脳神経外科 榎本由貴子

●富山県

【報告】

1) 2015 年 9 月 4 日 一般診療で使える消化管エコーセミナー

会場：富山大学附属病院臨床講義室 1

講師：長谷川雄一先生（成田赤十字病院）

2) 2015 年 9 月 5 日 やらんまいけ（学生向け家庭医療勉強会）

会場：富山大学杉谷キャンパス看護棟 2 階 22 教室

講師 濱井彩乃先生（森の里病院 内科医長、亀田ファミリークリニック館山 家庭医診療科）

テーマ：スポーツ医学のいろは～家庭医が教えるスポーツ医学～

医学部 1 年生からベテラン医師までの 29 名が参加し、スポーツ医学の実際を学ぶ事ができた。整形外科的な問題だけでなく、内科および精神的な問題、救護所の計画・運用まで興味を深めることができた。



3) 2015 年 9 月 5 日 消化管エコー・ハンズオンセミナー

会場：富山大学杉谷キャンパス看護実習棟 4 階 シミュレーションルーム

講師：長谷川雄一先生（成田赤十字病院）

浅野幸宏先生（成田赤十字病院）

丸山憲一先生（東邦大学医療センター大森病院）

少人数グループ(6名)でのハンズオンで、消化管の全領域(虫垂・上部消化管・下部消化管)を実習することができた。ライブデモ・ハンズオンの繰り返し方式での濃厚な講義実習は参加した臨床検査技師・医師22名の臨床に生かせる内容であった。

4) 2015年10月26日-30日 Daniel Panisko 先生(トロント大学) 来日

* とやま総合診療イノベーションセンター医学教育セミナーとして以下の講演会を開催

10月26日 卒前医学教育とコンピテンシー教育評価

10月28日 トロント大学のOSCE、卒後臨床教育

トロント大学総合内科のアカデミックな活動

Panisko 先生は気さくなお人柄で、些細な質問に対しても丁寧に応じてくださった。上記の内容に加え、Faculty Development や医学教育プログラムの質改善についてもお教えいただいた。



5) 2015年10月31日 教育講演会 暮らしのなかで“死に近く”こと

～『のさり』からみる老いの行方、ホームホスピス「われもこう」の活動から～

会場：富山大学杉谷キャンパス看護棟

講師：竹熊千晶先生(熊本保健科学大学教授、ホームホスピス「われもこう」設立者)

ホームホスピスは、自宅と同じような環境で終末期を迎えられる施設である。看護学生を含めた85名の参加があり、看護は社会資源をつくっていける分野で実践の学問であることなどが語り合われた。

6) 2015年11月3日 第4回 とやまいぴー(とやま多職種連携教育プロジェクト)

場所：富山福祉短期大学

テーマ：療養計画を老健のみんなで考えんまいけ！

とやま多職種連携教育プロジェクトは1周年を迎え、過去最多の72名の学生・実務者・教員の皆さんに参加いただいた。今回は多職種が一つの施設内で働いている老健を舞台に、高齢男性の施設入所時のケアプランをグループに分かれて考えた。また地域包括ケアにおける予防の視点も共有するために、5年前にさかのぼれたら本人や家族にどのようなことができるか、介護予防の観点からも話し合いを行った。



【予定】

1) 2015 年 1 月 23 日 (土)

とやま NANTO-RENKEI 総合診療医養成プログラム ポートフォリオ発表会

2) 2015 年 3 月 26 日 (土) 越中五箇山 EBM WORK SHOP

テーマ：臨床現場での二次資料の効率のよい使い方／診断で使う EBM

講師：南郷栄秀先生（東京北医療センター）

※定員に達したため、申し込み締め切り済となっています。

●福井県

【報告】

1) 9/29 高浜中学校地域医療・介護特別授業

将来が気になるだす思春期の中学生に、医療・介護の世界に興味を持っていただいて、早期曝露を目指した取り組み。地元高浜町の医療介護関係者＋住民有志団体「たかはま地域医療サポーターの会」＋福井大学地域医療サークル「ぷちぷら」総勢約 30 人で実施！

職業紹介ムービー、医療介護クイズ大会、Meet the Experts! など、盛りだくさんの 2 時間でした。

アンケートで、全く触れたことのなかった医療介護の世界に興味を持ってくれた中学生多発！



2) 10/10 総診どうするん会

参加者：20 名

イカ焼きを食べながら今後の総診ならびに今後の人生について熱く語り合いました。

3) 10/28 家庭医療勉強会'緩和ケア' 児玉先生

参加者：15 名

家庭医に向けて緩和治療のことや告知、多職種連携にわたっての講義がありました。

テレビカンファレンスで和田診療所ともつながりました。

4) 11/17 けっこう健康！たかはま☆わいわいカフェ キックオフ！

福井県高浜町の健康やまちづくりに関心のある／関わっている個人や団体が、ジャンルや組織の壁を越えて集まり、ざっくばらんな おしゃべりをもとに健康についての新たな活動案を考えて実行していく会合が、はじまりました。毎月定例的に集まって、無理のなく建設的な活動を地道に継続していく予定です☆



5) 11/25 家庭医療勉強会'ウイメンズヘルス' 後期研修医 菱川先生

参加者：20名

思春期から更年期・老年期に渡る幅広い講義でした。

一部グループワークあり、大変盛り上がりました。

テレビカンファレンスで和田診療所、丹南病院とも中継して行いました。

終了後、後期研修医の振り返りを行いました。

6) 11/29 福井県小浜市さんさんホーム

第2回 専門職連携教育(IPE)セミナー・脳卒中の予防と治療・患者さんの選択を支えるチーム医療を開催しました。

医師、看護師、保健師、ケアマネージャー、栄養士などの職種の方総勢30名が集まりました。

午前中は脳卒中の講義と市民団体による脳卒中伝劇が行われ、'ロミ夫とジュリ江' っとうがあり、大変わかりやすく学べる機会でした。

午後は地域で支えるがん緩和ケアということでグループワークやロールプレイを交えて希望をつなぐ連携について学びました。

【予定】

1) 毎週水曜日

テレビカンファレンスシステムで約10名の医師が、各診療所・各病院と中継して病気のこと、家庭医療のことなどを双方向性の勉強会を行っています。

●石川県

【報告】

1) 能登地域総合診療強化研究会 平成27年度クリニカルラウンド

第3回 ドクターG in 輪島

講師 洛和会音羽病院 酒見 英太先生

日時 平成27年9月18日(金)15:00~17:00、19:00~20:00

場所 市立輪島病院 会議室 参加者28名

内容 症例検討、ディスカッションとレクチャー



第4回 テーマ 医療倫理 ～悪性リンパ腫の症例～

講師 公立穴水総合病院 木南 佳樹先生

日時 平成 27 年 10 月 21 日(水)19:00～20:00

場所 公立穴水総合病院 会議室 参加者 32 名

内容 症例提示に基づいたグループディスカッションとレクチャー



第5回 ドクターG in 珠洲

講師 洛和会音羽病院 酒見 英太先生

日時 平成 27 年 11 月 21 日(土)16:00～19:00

場所 珠洲市総合病院 会議室 参加者 18 名

内容 症例検討、ディスカッションとレクチャー



2) 能登地域医療セミナー秋合宿

能登地域医療セミナー秋合宿 ～世界農業遺産 能登の里山で地域医療を考えよう～

講師 小泉 順二、中橋 毅、吉岡 哲也、金子 聖司、多田 喜一郎

日時 平成 27 年 10 月 24 日(土) 12 時から 25 日(日) 13 時まで

場所 春蘭の里(石川県鳳珠郡能登町宮地)

内容 地域医療と総合診療について

山の危険を認識しよう(マムシ、ハチ、イノシシ、毒キノコなど)

山の怪我に対処しよう(学生が出来る応急処置から病院での治療まで)

農家民宿にて民宿の方にインタビュー(医療の体験、医療に望むこと)

春蘭の里の医療の在り方(各農家民宿でのインタビューを持ち寄ってグループワーク、発表)

他、きのこ狩り体験など



【予定】

1) 能登地域総合診療強化研究会 平成 27 年度クリニカルラウンド

第 6 回 テーマ プロフェッショナリズム

講師 恵寿総合病院 吉岡 哲也先生、宮坂麻由子先生、Dr. Eugene Bailey

日時 平成 27 年 12 月 17 日 (木) 19:00~20:00

場所 公立宇出津総合病院 会議室

内容 症例提示に基づいたグループディスカッションとレクチャー

第 7 回 テーマ・講師 未定 日時 平成 28 年 1 月予定、場所 市立輪島病院 会議室

第 8 回 テーマ・講師未定 日時 平成 28 年 2 月予定、場所 珠洲市総合病院 会議室

2) Dr. ベイリー特別教育週間

講師 Dr. Eugene Bailey

恵寿総合病院 家族みんなの医療センター 非常勤指導医

ニューヨーク州立大学医学校 家庭医療科 准教授

期間 平成 27 年 12 月 14 日 (月) ~18 日 (金)

場所 恵寿総合病院

内容 家族みんなの医療センターでの実習、ベイリー先生の英語での臨床講座



3) 能登地域医療セミナー冬合宿

能登地域医療セミナー冬合宿 ~総合診療医のための産婦人科診療~

講師・テーマ

沖縄県立中部病院産婦人科 橋口 幹夫先生 『婦人科感染症』

長崎医療センター産婦人科 安日 一郎先生 『妊娠糖尿病』

山梨大学医学部産婦人科 平田 修司先生 『婦人科診察』

日時 平成 28 年 2 月 20 日 (土) 17 時から 21 日 (日) 12 時まで (予定)

場所 和倉温泉 日本の宿 のと楽

主催 能登地域総合診療強化研究会

●静岡県

【報告】

1) 病院再生と在宅医療マネジメント (静岡家庭医養成プログラム)

【日時】 10 月 5 日 (木) 14:30~17:30

【場所】 森町家庭医療クリニック 2F 大会議室

【講師】 大杉 泰弘 (おおすぎ やすひろ) 藤田保健衛生大学総合診療・家庭医療プログラム責任者

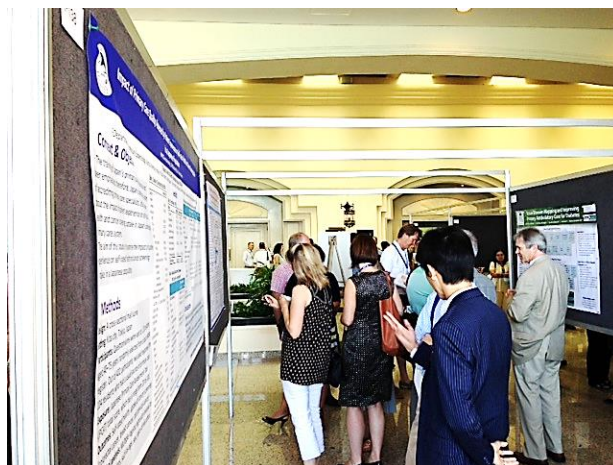
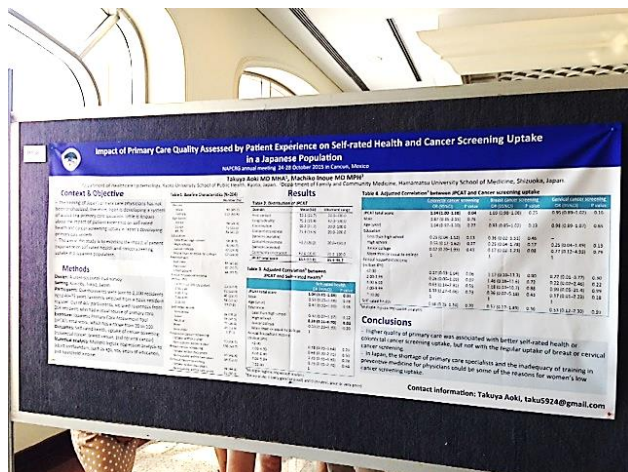
本田 宜久 (ほんだ よしひさ) 医療法人博愛会 額田病院 病院長



2) 2015 年 10 月 25-27 日 メキシコで開かれた第 43 回 North American Primary Care Research Group Annual Meeting で発表を行いました。(静岡家庭医養成プログラム)

Impact of Primary Care Quality Assessed by Patient Experience on Self-rated Health and Cancer Screening Uptake in a Japanese Population

Takuya Aoki, Machiko Inoue



3) 2015 年 11 月 15 日 (日) 平成 27 年度 第 29 回静岡県地域医学研究会

時間: 午前 9 時 00 分 開始 ~ 12 時 30 分

場所: 佐久間歴史と民話の郷会館 小ホール

テーマ(主旨) 「地域医療と研究とのかかわり」

第 1 部 一般演題発表

第 2 部 講演

「地域医療と研究とのかかわり」をテーマに

講師: 牧信行先生(千葉 21 期), 見坂恒明先生(兵庫 23 期), 菅野武先生(宮城 28 期)

4) 第 7 回家庭医療学学生・研修医ワークショップ(静岡家庭医養成プログラム)

「家庭医療のアプローチを知ろう!」~お母さん、元気ですか?編~

日時: 12 月 5 日(土) 13:00~17:00

場所: 浜松駅前ビル 4F B 会議室

51 歳女性のケースをもとにディスカッションを行いました。



【予定】

1) 第1回静岡プライマリ・ケアフォーラム(第1回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック静岡県支部地方会)

～静岡県の保健医療、地域包括ケアと総合診療～

日時：平成28年2月13日(土) 14:30～17:30

場所：静岡県総合研修所「もくせい会館」2階第5会議室

講演① 聖路加国際病院 リウマチ膠原病センター医長 岸本暢将先生

総合診療のためのリウマチ性疾患の診かた“ハンズオン”

講演② 浜松医科大学 地域家庭医療学特任教授 井上真智子先生

「保健医療2035」とかかりつけ医、家庭医の役割(仮題)

総会、会員交流会(自己紹介・施設紹介)

診療所、病院、医師会、各地域での取り組み紹介

参加費：2000円(コメディカル1000円、学生無料)

12月中に登録されているメールアドレスでご案内する予定です。

参加申込、お問い合わせはトータルファミリーケア北西医院 北西史直 FAX:0545-61-0306

frisco@wonder.ocn.ne.jp

2) リサーチワークショップ「混合研究法を用いた事例研究の進め方」

このワークショップでは、混合研究法方法論の分野で活躍する研究者二人を講師に迎え、混合研究法を用いた事例研究の基礎を学びます。参加者は、講義と参加型の双方向アプローチによる実技を通して、混合研究法を用いた事例研究のデザインを行います。

日時：2016年1月16日(土) 14:00～17:30 (受付開始13:30)

場所：掛川市生涯学習センター(静岡県掛川市)

※JR掛川駅より徒歩20分 / 車で5分(無料駐車場あり)

<http://k-kousya.or.jp/center/publics/index/2/>

学習目標：・事例研究の「事例」をどのように定義するかを理解する

- ・混合研究法を用いた事例研究の特徴を理解する
- ・混合研究法を用いた事例研究に適した事例を選ぶ
- ・混合研究法を用いた事例研究のための質的および量的データの収集源を特定する
- ・混合研究法を用いた事例研究実施のためのデザインを考案する

対象：臨床や教育のプログラム評価に混合研究法を用いた事例研究アプローチを使ってみたい方

参加費：無料 終了後懇親会あり（有志、実費）

定員：30名（先着順）

講師：Timothy C. Guetterman, PhD (Research Fellow

University of Michigan, Department of Family Medicine)

Michael D. Fetter, MD, MPH, MA (University of Michigan)

コーディネーター：井上真智子（浜松医科大学地域家庭医療学講座、静岡家庭医養成プログラム）

使用言語：日本語、英語

申込締め切り日：2016年1月4日（月）（または定員に達し次第締め切ります）

※参加登録された方には、12月下旬に事前課題をお送りします。

申込・問い合わせ先：

申込書を[ダウンロード](#)し、必要事項をご入力の上

sfm@tenor.ocn.ne.jp（研修コーディネーター林）までお送りください。

TEL:0537-73-5551（菊川市家庭医療センター）

E-mail: sfm@tenor.ocn.ne.jp

3) 第10回慢性期医療を考える会「地域包括ケアについて（仮）」

日時：平成28年2月10日（水）19:00から

会場：もくせい会館（静岡市葵区鷹匠3-6-1）

特別講師：高山義浩先生（沖縄県立中部病院） 他一般演題が2題の予定

【各地の話題】

ふじのくに家庭医後期研修プログラムの紹介

静岡県立総合病院 牧 信行

2015年8月、静岡県では初めて、日本プライマリ・ケア連合学会の後期研修プログラム Ver.2として「ふじのくに家庭医後期研修プログラム」が認定されました。

当プログラムは伊豆・駿河・遠江の三国にわたる広い県域のそれぞれで地域医療を支えてきた7施設（西伊豆病院、伊豆赤十字病院、北西医院、静岡県立総合病院、静岡県立こころの医療センター、公立森町病院、浜松市国保佐久間病院）が協力して未来の家庭医を育てるためのプログラムで、アピールしたい「売り」は次の3つです。

1. 県庁所在地（政令指定都市）の基幹病院から、地域第一線の中小病院、診療所まで

基幹施設である静岡県立総合病院は全ての専門科が揃っており、「搬送される側」として症例の経過を最後まで見届けことができ、希望に応じた領域別研修が受けられます。一方総合診療I等で選択できる連携病院・診療所は、いずれもそれぞれの地域に密着し長年信頼されてきた施設です。

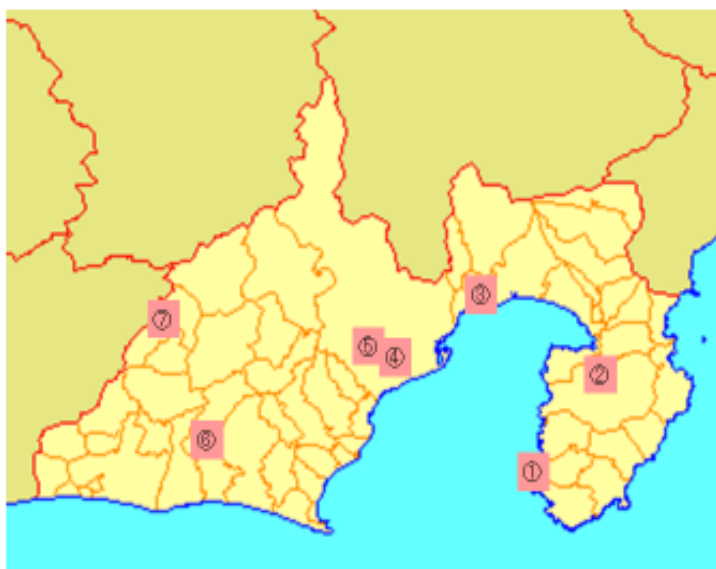
2. それぞれの立場で多彩な教育環境を提供

有名な「西伊豆早朝カンファレンス」をはじめ、基幹病院での専門各科からのレクチャー、佐久間病院では地域住民や福祉職員も巻き込んだ勉強会などが行われています。

3. 天の恵み、地の利、人の和

温暖な気候と豊富な海の幸・山の幸(お茶とみかんだけではありません!), 関東にも中京・関西にも日帰り可能な交通の便の良さ, 温厚な住民気質でクレームの少ない医療が可能, そして健康寿命(2012年)は男性2位、女性1位を誇ります。

何より、医師として大切なのは「ここにいる人達に、必要とされていること」ではないでしょうか。静岡は家庭医の教育という面で先進的な地域ではありませんでしたが、それだけに家庭医の活躍への期待は大きく、今後は家庭医養成のために全県的に協力しようという機運はかつてなく高まっています。ぜひ一人でも多くの専攻医に静岡に来ていただけますようお願いしています。そして他県の皆様には、今後ともご指導をよろしくお願いいたします。



ふじのくに家庭医後期研修プログラム参加施設

- | | |
|-------------|-------------------|
| ① 西伊豆健育会病院* | ⑤ 静岡県立こころの医療センター* |
| ② 伊豆赤十字病院* | ⑥ 公立森町病院* |
| ③ 北西医院 | ⑦ 浜松市国保佐久間病院 |
| ④ 静岡県立総合病院 | (*: 申請中) |

<支部運営についての情報>

- 各県の代表窓口は下記の方々です
三重県；竹村洋典、富山県；山城清二、石川県；吉岡哲也、岐阜県；石塚達夫、愛知県；伴信太郎、福井県；林寛之、静岡県；北西史直
- 中部地区のプログラム責任者の会世話人；吉岡哲也（恵寿総合病院家庭医療学センター）
- 中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。
木村 悦子（中部ブロック支部事務局）e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp